

海燕社

の小さな
映画会 2021

10/10 (日) 14:00 ~ 沖縄県立博物館
美術館 (3F) 講堂

13:00 受付
13:30 開場 料金 2,500円 ※完全予約制

予約：海燕社 (かいえんしゃ) ☎ 098-850-8485 / ✉ mail@kaiensha.jp

ARTS for the future!



©1940 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.

特別企画

チャップリンの『独裁者』

上映×講演

【なぜ「10月10日」に『独裁者』か】

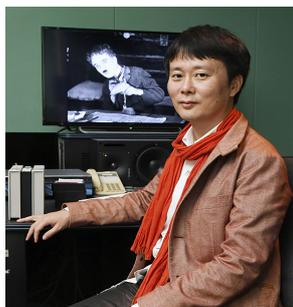
2021年は戦後76年目。沖縄の人が「戦争」を初めて強烈に体験したのが1944年の「十・十空襲」だった。『独裁者』も1940年奇しくも10月10日に完成した。2つの「10月10日」を思いながら『独裁者』を「沖縄」で観てもらいたい。私たちは常に「時代にどう向き合うのか」問われている。(海燕社)

【ストーリー】ユダヤ人の床屋(チャップリン)は従軍中に負傷し記憶をなくして、野戦病院に収容された。病院を抜け出した床屋がユダヤ人街へ戻ると、隣人や洗濯屋の美しい娘ハンナ(ポーレット・ゴダード)らが温かく迎えてくれた。そのころトメニア国はヒンケル(チャップリンの二役)による独裁政権となっていた。

ヒンケルはユダヤ人迫害を行い、床屋やハンナからは独裁政権の嵐に巻き込まれていく。やがて、ひよんなことからヒンケルに間違われた床屋は軍隊や群衆の前に演説をすることになった…。

(1940年/124分)

特別講演 大野 裕之 さん (日本チャップリン協会会長)



チャップリンの『独裁者』を深く理解するため、日本チャップリン協会会長で『チャップリンとヒトラー メディアとイメージの世界大戦』(第37回サントリー学芸賞受賞/2015年)の著者、大野裕之さんの講演を企画した。脚本家・演出家。国内外のチャップリン関連企画やブルーレイ等を監修するなど遺族の信頼も厚く日本でのチャップリンの権利の代理店も務める。チャップリン関連の著書は『チャップリン作品とその生涯』(中公文庫)、『ディズニーとチャップリン エンタメビジネスを生んだ巨人』(光文社新書)等。



『チャップリンとヒトラー メディアとイメージの世界大戦』(第37回サントリー学芸賞受賞)

新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください

- ※ソーシャルディスタンスを確保するため、座席数を半数以下にします。そのため、料金を値上げしました。ご了承ください。
- ※上映会に参加の際は、マスク着用、検温、手指消毒にご協力ください。当日、熱、咳、だるさを感じたら来場をお控えください。
- ※ご自身の身近に感染の疑いがある方、過去2週間以内に陽性者と濃厚接触がある方は来場をお控えください。
- ※沖縄県の緊急事態宣言発令中(会場閉館の場合)は映画会は中止です。